

会議等経過報告書

1. 件名	令和3年度第2回大船渡市立図書館協議会
2. 日時	令和4年2月14日（月） 午後1時30分～午後3時20分
3. 場所	大船渡市民文化会館（1階展示ギャラリー）
4. 出席者	委員：上関みさ会長、佐々木一義副会長、今野美彌子委員、藤村敏夫委員、鈴木博委員、白木澤京子委員 図書館：新沼部長、熊谷館長、汐谷館長補佐、菅野係長、中井司書、黒森司書補

会議等の内容（要旨）

1 開会（進行：汐谷館長補佐）

委員出席状況の確認。委員全員出席。

2 会長挨拶（上関会長）

3 部長あいさつ（新沼館長）及び職員紹介（熊谷館長）

4 議事

報告第1号 令和3年度図書館事業の実施状況及び利用状況（4月～12月）について
（菅野係長説明）

■（佐々木一義副会長）

様々な事業をありがとうございます。ひとつ質問したいことがあります。

1番の(4)、移動図書館車かもしか号巡回サービスについてですが、試験的に中学校2校に対して配本に切り替えかえましたというお話しでしたが、その理由は为什么呢。

それから、来年度は、また中学校から希望を取ってというお話しでしたが、この結果により、他の学校に広げるのかというような見通しがもしあれば教えていただきたいと思います。

（菅野係長）

まず、配本を始めた理由ですが、ある学校から、図書館の司書が選書した本を読みたいという要望が最初のきっかけになり、それを受けまして、昨年度、各学校に配本の希望について照会したところ、小・中学校からそれぞれ希望がありました。図書館として初めてのことで、まずは、昨年の10月からとなりますが、中学校2校から試験的に実施したということになります。

それで、概ね好評でしたので、今回、来年度の希望調査を行っているような状況です。

それから、今後の見通しについては、来年、もう少し進めてみてからとなりますが、やはり、子どもたちに選んで貸出しさせたいというような学校もありますし、小学校でも配本を希望するところもあると思いますが、配本希望の学校数が増えても、本を入れ替える作業が中心となりますので、実施方法を工夫すれば、配本は可能であると思っております。

（佐々木一義副会長）

子どもたちに本を選ばせたいとの思いはありますが、どうしても、自分の興味のあるものに偏りがちであるとの本校の課題もありまして、やはり、図書館司書さんの選んだ普段読んでいない本を読むといった機会も是非つくりたいと思っておりますので、希望を取りながら、小学校にも広げていただけると有難いと感じます。

それで、毎月でなくても、例えば、北小は何月と何月とかといった形でもしていただければ、大変有難いなというふうにも感じてました。

（上関会長）

貴重なご意見、ありがとうございました。

■（今野委員）

私は、立根小学校の朝読書時間に読み聞かせに入っていますが、学校では「おはなしころりん」さんが、それぞれの学年の廊下のところに配本しており、子どもたちは、それから選んで読み、また、感想などを言ったりして、とても喜んで利用されているようです。

（菅野係長）

配本につきましては、「おはなしころりん」さんが、既に小学校で行っているようなしくみがありますので、図書館では、中学校から優先的に行っているという背景があります。

■（白木澤委員）

I Cタグを付けるにあたり、不明になる本とか、盗難防止のためということを以前お聞きしましたが、実際に付けてみて、現在は分かるような状況なんですか。

（菅野係長）

数字的なものは、今は持ち合わせていませんが、まず、目に見えて分かるのが、持ち出した時に、ゲートのところで結構大きな音が鳴ります。もちろん、故意の持ち出しではなく、図書館側の貸出手続きの時に、うまく機器が作動せず引っかかってしまうことがほとんどです。

かなり主観的な話しにはなってしまいますが、防犯での効果はかなり高いものと感じております。

■（上関会長）

6ページの読書運動推進講座がございますが、いろいろなアイデアを出して運営されていると感じました。ただし、「親子としゃかんたいけんツアー」については、8月1日の参加者がなかったのは残念だったかなと思いました。

東海新報をみますと、係長さんが、一緒に子どもたちと活動していた写真が写ってましたが、司書さんだけでなく、すばらしい活動なさっていると感心いたしました。

■（佐々木一義副会長）

先ほど、除籍について準備を進めているとご説明がありましたが、12ページの除籍基準の4番に、「有効活用を図るため、他の市機関に所管替えを行う。」というような内容がありますけれども、これまで行ってきたというような実績といったものはあるのでしょうか。

今後の見通しとか、もしありましたら教えていただけないかと思います。

（藤村委員）

最近はやってないということでしょう。以前は、各学校に市立図書館のラベルが貼ってある本があったので、おそらく払い下げはあったと思います。

（熊谷館長）

たぶん、現在の図書館になってからは、やってないと思います。

（佐々木一義副会長）

それは、今の図書館は、スペースに余力があるというか、新しい本が中心ということ何でしょうか、というのは、今、お話しがありましたが、学校の図書館の充実ということがありまして、もし可能であれば、児童書とかそういうような除籍等にあたる本があれば、希望する学校に柔軟に有効活用させていただければと思いました。

（上関会長）

有効活用できれば、一番いいですね。

（熊谷館長）

除籍する理由ですが、かなり劣化がひどく払い下げするには耐えられないという本が大多数なので、払い下げできるものを一旦選んでみないと、実際に払い下げできるかどうかという約束はできませんが、できれば、活用できるものは活用していければ本当によいと思います。

(上関会長)

本の状況を見て、ということですよ。

(熊谷館長)

本が立派でも、中身が少し古くなっているものもありますので、選ぶのが大変ですが、極力、再利用できるものはするように努めていきたいと思えます。

■ **(白木澤委員)**

ちなみに、雑誌とかはいろいろありますが、毎月新しいものが出てきて、古いものは下の段に置いてありますが、廃棄については、どういうふうになっているんですか。

(菅野係長)

雑誌については、2年サイクルで交換しておりますが、人気があるものや多く貸し出されるものは少し長めに置きますが、基本は2年となっております。

(白木澤委員)

そうすると、廃棄するという形なんですね。

■ **(上関会長)**

企画展は、様々な工夫をこらしてなさっていたようです。あの、「大谷翔平」とか、すごく時宜にあったものでよかったです。この中で、一番良かったというのはどういうものでしょうか。

(菅野係長)

割と印象に残っているものは、10月25日から12月13日まで実施した「いらっしやいませ、お店やさんの本」という、お店さんをテーマにした絵本とかを集めた児童向けの図書展でした。

通常は貸出しが主になってますが、この企画展では、模造紙にまちをつくり、その中に商店街やお店屋さんもつくって、本を借りたら、そのお店屋さんいろいろなシールを貼れるように置きましたら、子どもたちが競うように、色々な店にシールを貼って、読みましたという作品ができたという感じになり、読書を楽しめ、図書館に来て楽しめるいいやり方だったなという感じは持ちました。

(中井司書)

この企画展の背景ですが、コロナ禍により遠くにお出かけできないお子さんが多かったことから、地域の商店街やお店に目を向け、普段目にするお店をテーマにして、また、読書週間の時期でもあり、参加型といいますか、楽しみながら普段読まない本に手を伸ばしていただくという企画により計画いたしました。

(上関会長)

委員の皆さまからは、様々なご意見をいただきましてありがとうございました。

事務局の方では、ただ今の意見等を踏まえて、今後、図書館事業の参考にするようお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

報告第2号 令和3年度図書館資料の購入状況（4月～12月）について（菅野係長説明）

■ **(上関会長)**

図書購入費については、残額もありますが、2月中には購入を終了させたいということだそう。では、報告第2号につきまして、ご意見ご質問をお願いします。ございませんか。

「なし」との声あり。

(上関会長)

それでは、報告第2号につきましては、この通りでということを進めていただきたいと思います。

報告第3号 大船渡市立図書館利用者アンケートの集計結果について（汐谷館長補佐、菅野係長説明）

■（鈴木委員）

感想みたいになるかもしれませんが、このアンケートの年代をみると、60代や70代の回答数が総数の3分の1くらいになるのでしょうか。

もししたら、その関係から、セルフ貸出機よりカウンターの方が便利だということに繋がったり、ホームページ等があることを知らないとか見たことがないとかに繋がったり、また、こういった新しい機器に不慣れなところからきているようにも感じますが、いざ使ってみると便利ですので、継続して進めていくことがいいのではと思います。

私も、図書館を時々活用しますが、ある時、セルフ貸出機が設置され、最初は分かりにくかったのですが、慣れてみると簡単で楽だと感じましたし、特にも、このコロナ禍の時期、対面するよりもお互いに安心でいいなと感じました。

■（上関会長）

ありがとうございました。

やっぱり、利用者も、私たち年代というか、高齢者が多いのでしょうか。そうとは限りませんか。

（菅野係長）

高齢の方が多いです。

（上関会長）

高齢者に優しい図書館、高齢者に愛される図書館。

（菅野係長）

図書館の利用者は、高齢の方が多いのですが、だからといって、セルフ貸出機を使わないかというと、以外と使われており、その方々からは簡単だという感想もよく聞きます。

年度当初は、割と若い世代の方には、貸出機の操作ができると思い声掛けはしやすかったのですが、高齢者の方には、操作ができるかなという思いもあって、声掛けしなかったということもありましたので、徐々に利用者の皆さまへ広げていく余地はあるものと考えております。

（上関会長）

やっぱり、時間をかけて、少しずつ進めていくというところでしょうか。

■（今野委員）

以前、福祉の里センターでは、高校生が遅くまで学習していたというのを覚えておりますが、資料にも「おおふなポート」さんでも21時まで学習利用しているとありますが、この4月1日から業務委託するようですが、中高生の学習利用のため午後9時頃まで開館時間を延長するというような要望はいかがでしょうか。

（熊谷館長）

指定管理者を募集する時には、平日は夜の7時、土日祝日は午後5時まで、との条件を付けており、それにより経費を積算しておりますので、午後9時までの時間延長となると、業者からは、対応できませんがその分経費がかかりますと言われる可能性が高いので、時間延長は難しいと思います。

■（熊谷館長）

図書館の開館時間は、現在、コロナ対策の消毒対応のため、午前10時の開館としておりますが、この4月からは、元々の開館時間である午前9時に戻したいと考えております。

何で可能かという点、指定管理者で雇用する職員が、現財の職員より勤務時間が長くなることから、消毒作業に回っても、他の職員で開館に対応できるということであり、現在、細部について業者と詰めている状況です。

（上関会長）

それでは、朝は今までのように早くなるということのようです。

■（白木沢委員）

意見なんです、アンケートの間10番で、図書館で行っているサービスを知らない人が結構いると思いましたが、東海新報さんの図書館の新着本等の紹介のコーナーがありますが、こういう知られていないサービスやレファレンスサービスを載せて周知していくこともいいのではと思います。

この会議に来る前に、かなり一生懸命に図書館のホームページを見てきましたが、少し分かりづらくて、例えば、予約するのであれば、「予約しますか」の次に、「次の項目にいき、ここを押して下さい」とか、というようなことが書いてあればいいと思いました。

あとは、実際に図書館に来た時に、ホームページ自体の画面やその内容が見えるようなものもあればいいとも思いました。

あと、このアンケートの結果について、たぶんホームページに載せると思いますが、紙ベースでも対応状況等をこのアンケートの記載場所に置いてもらえると親切だと思いました。そうすれば、自分たちの図書館をもっと良くしていこうという、このアンケートに協力いただいた気持ちのある方たちに対して、市としてどのような回答を届けるかということ市政として見せていかなければと思います。いろいろ大変だと思いますが、是非お願いしたいと思います。

（上関会長）

はい、ホームページに関わってのご意見でした。

中々、こう大変な面もあろうかと思えますけれども、よろしく願いいたします。はい、どうぞ。

■（今野委員）

広報大船渡には、図書館だよりのように新刊書やいろいろなイベントを載せていますが、図書館だよりについて、今お話しのような事柄を載せていただくような要望はいかがでしょうか。

（熊谷館長）

市の広報等については、指定管理者が記事を掲載できませんので、市の方で責任をもって、今までどおりのような記事は掲載していきたいと思っております。

（今野委員）

インターネットとかは、非常にむずかしく分からないとかありますので、そういった使い方とかを書いて載せていただくことや、各家庭に配布するような「たより」について、もっと詳細にわかるような「図書館だより」のようなものを作ってもらえたらと思います。

■（白木澤委員）

アンケートの自由記述にありましたが、図書館が無料貸本屋にならないようにということがありまして、行政が目指している図書館、知的財産を守るとか、視野を広げるための図書館というのと、私たち市民が図書館に求めているということの間にギャップがないかということ、このアンケートを通して見ていく必要があるというように思いました。

それで、問の13にもあるように、「今後、力を入れてほしい取り組み」においては、やはり、市民は、本の量や質というところを求めています、そうすると、本やさんの経営を圧迫するのではと心配される方もおりましたので、やはり、「図書館とは何ぞや。」というところの認識をもう少し市民にも広げていく必要があるのではないかと思いますので、よろしく願いします。

（上関会長）

大変、大きな問題です。

（熊谷館長）

図書館は貸本屋ではないので、その通りだと思います。

（白木澤委員）

図書館が無料貸本屋になつては、もったいないと思います。

（菅野係長）

アンケートに、マンガの充実と書かれた時には、悲しい感じがしました。

■ (上関会長)

8ページの図書、雑誌、一般のところ、ずいぶん、経営や経済に関する蔵書を増やしてほしい、暮らしや生活の本から、年金、保険に関するものもというような要望がでておまして、この辺をみますと、情報センターとしての有り方を皆さんは求めているというような思いはいたしました。

それで、大船渡市立図書館は、本当に子どもたちの本といますか、絵本、児童書に力を入れていただいて、もしかしたら、他の図書館に比べれば、蔵書率が多いのかなと思います。

それはそれで、私たちの財産でありますけれども、やはり、一般の方々にも、情報センターとして活用していただけることを今後考えていくべきかなと思います。

(熊谷館長)

利用者の方々には、リクエストサービスを知らない方が結構多いので、リクエストさえしてもらえば、読みたい本を購入しますので、読みたい本が見つかるということをもっとPRしていきます。

(上関会長)

何か、以前の話題にもありましたが、発信の仕方については、お忙しい中でしょうけれども、よろしくお願ひしたいと思います。

。

■ (上関会長)

それでは、たくさん貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

事務局の方では、ただ今のご意見を踏まえて、今後の図書館活動に、図書館事業に参考になるようお願ひいたします。

それでは、これで、すべての協議の方は終了しましたので、事務局の方にお返ししたいと思います。

(汐谷館長補佐)

会長、大変ありがとうございました。委員の皆さまも、大変貴重なご意見ありがとうございました。それでは、5番のその他に入らせていただきます。

5 その他

(1) 大船渡市立図書館指定管理者募集状況等について（熊谷館長説明、汐谷館長補佐補足説明）

■ (上関会長)

資料の11ページですが、フルタイムスタッフ5名、シェアスタッフ2名など全10名体制でということのようですけれども、10人の方の中にかもしか号の運転手さんが含まれるわけでしょうか。

(汐谷館長補佐)

一応、計画上では、運転手専門ではありませんが1名と、その補助も含め3名程度含まれるというような提案をいただいております。

(上関会長)

資料には、「地元の方を採用したい。」というようなことがどこかに書いてあったと思いますが、この10名というのは、会議資料の14ページにある方たちがすべてこのスタッフになるとは限らないと思いますけれども、人数的には、この方々よりは少なくなるということでしょうか。

(汐谷館長補佐)

説明はむずかしいのですが、この資料では司書、司書補、事務補助員、運転技師までで現在8名ですが、それが10名になると思っただけだと思います。

ただし、館長補佐と係長は抜けるので、総体的には同じ位という感じになりますが、図書館長はそのまま配置となります。それは、市でコントロールできるようにとの前回いただいたご意見を踏まえ、館長はそのまま置くということで進めているところです。

■ **(白木澤委員)**

この事業計画の提出後に、このアンケートを取ったということで、アンケートが後ですね。

(汐谷館長補佐)

アンケートが後になります。

(白木澤委員)

アンケートが後だとすると、このアンケートで出てきた問題点とか、そういう点を、また、業者さんにこうしてほしいというのを、意見を述べながら行っていくという感じになりますか。

(汐谷館長補佐)

委員のおっしゃるとおりです。

本日、皆さまからいただいたご意見についても、指定管理者に対しては、図書館協議会における意見なので、これを実現するように努めてくださいと伝えますが、実現できる場合もありますし、検討を要すること等いろいろあると思います。

要は、委託料の問題がございますので、先ほど、開館時間の延長とのご意見がありましたが、実現するには、その分の人件費が増すということで、かなり厳しいということもあります。

皆さまからいただいたご意見やアンケートのご意見等については、指定管理者に対して、このような意見がありましたので、可能な限り、その実現に努力していただくということになると思います。

ただし、何回も申し上げますが、全部ができるかといえば、実現できる部分とできない部分がqりますので、今後、市と指定管理者側とで協議していかなければならないと考えております。

(熊谷館長)

新年度においても、この図書館協議会は継続しますので、その時には、事務局側として指定管理者が参加して、いろいろな意見を聞いてくという形になってくると考えてましたので、その際には、委員の皆さんは、指定管理者に対して、いろいろとご意見を述べていただきたいと思います。

■ **(白木澤委員)**

4月からは、指定管理になると思いますが、実際に借りる私たちからすれば、4月1日に図書館へ行った時に、何か大幅に変わっているとか、そういうようなことではないですね。

(熊谷館長)

たぶん、職員自体は顔ぶれが変わらない可能性が高いので、図書館に来られた方は、何が変わったのかというイメージを受けるかもしれません。けれども、追々は変わっていくこととなりますが、「この図書館は、株式会社何々が指定管理を受けてます。」との表示をしますので、そこを見ない限りは、劇的には変わらないと思います。

(菅野係長)

もしかすると、ユニホーム的なものを着ていれば、変わった感じを受けるかもしれません。

(白木澤委員)

なんとなく、今まで通りで変わらない方がいいところと、一方で、お金をかけて新たに指定管理となる時に、何も変わらないと思われぬように、できれば指定管理にして良かったというところが、市民に見える形になればいいかと思います。

(菅野係長)

今回のアンケートした結果については、指定管理者にとっては伸びしろ部分であり、ある意味参考になりますし、来年度も同じアンケートをとれば、評価指標にもなり得ますので、市もそれでコントロールしやすくなり、今回のアンケートは、来年も使えるような感じ実施したところです。

(白木澤委員)

はい、わかりました、よろしくお願いします。

■（藤村委員）

指定管理者の話しを聞いていて、資料の14ページの方々の部分では、市民文化会館専任、図書館の兼務の方々、図書館の専門の方々それぞれいると思いますが、まず、希望するのであれば、やはり、この方々が優先されて、現場を分かっている状況で運営されれば、一番いいと思います。

指定管理は、公営から民営に変わるということですから、学校給食も同じですが、給食センターでつくったものを民間に移譲するということなので、同じことが起こるんですよ。

それで、業者がどこだとなるので、これもほぼ決まりなので、良くしていただくには、民間ですからお金を使ってうまく回していただき、本社との繋がりの中で、幅広いとサービスをもつていただく、ということがあると思うんです。

業者というのは、利益が考えられるので、心配なのは、学校関係は、調べものをするときに、去年でいえば、ここに載っている「toolI」というのは、学校関係の調べものをする際に使用しますが、年間5万円位かかるんですよ。そうすると、この学習コンクールを実施するには、どうやるのかなと思ったときに、この図書館が各学校に使わせるのか、市に要望したら使わせてくれるのか、などいろいろあると思いました。

学校は、すごく予算が少なく、図書館よりももつとないので、何とか学校にも、うまく図書利用が図られる、あるいは、図書、本が好きになるような仕掛けをしていただければいいと思います。

それは、さっきのホームページのお話と同じですが、ホームページ開くと、サイトマップばかりでてきて、おそらく、年代がいつている我々は、ぱっと分かるような方がいいと思うようなところもあるので、そのあたりを新しい図書館になったときに、頼むね、という形をお願いすればいいのかな、と思います。

それでも、今まで本当に、この図書館の職員の方々がすごく丁寧にやってくれて、コロナ禍においても、ここまで回復させたというのは、すごく意義があることだと思いました。

この「図書館探検」なども、すごくいい取り組みですので、こういう取組が続いていけばいいと思いますし、子どもたちが来た時に、検索の仕方であるとか、貸出しの仕方であるとかを、こういうものがあるんだよと小さいうちから教えておけば、数年すれば使えるようになるので、徐々に増やしていけばいいんじゃないでしょうかね、と感じました。

（汐谷館長補佐）

ありがとうございます。今、委員のご意見については、まさにその通りでございまして、指定管理するひとつの目的といたしまして、司書の充実という部分がございます。

それが、今、お話しがあった学校図書との連携ということが、今後、かなり重要になるということで、その辺につきまして、指定管理者に、司書の増員については、かなり力をいれていただき、学校の連携だけでなく、幅広い年代における読書の読み聞かせ活動も含めまして、今まで、どちらかというと、市では、児童や幼児の部分に重点を置きましたが、ヤングアダルト、青年、女性、そして高齢者等々、それぞれの幅広い年代における読書推進活動というものにも広げていきたいということで、司書の確保に努めているところでございます。

今後とも、貴重なご意見いろいろとお願いしたいと思います。ありがとうございました。

（新沼部長）

いろいろ、縷縷ご意見を頂戴いたしました。基本的に指定管理者制度を導入する一番大きな目的は、市民サービスの向上を図ることが主眼であり、その次に、効果的な経費の運用ができればということがあり、そのことについては、指定管理候補者も同様な認識でございます。

いずれ、変わらない部分は確かにあると思いますが、それは、今の図書館が優れている点だという風に認識しているところでございます。

その点を把握した上で、こういった企画提案書を出していただいて、これをもとに、結局、競争によりここが選ばれた訳ですけれども、そういった中で、そういった認識、我々のこういった現状についてもきちんと理解していただいているということを確認しておりますし、そういった上では大変心強いかなと思っております。

基本的に、いいことについては変わりませんが、業者の持っているノウハウを使って、市民サービスの向上が図られるということが大前提になりますので、まったく、今までと変わらないということはありませんので、そこは認識していただいて、より良い図書館に成るべく、今後とも運営して参りたい、市としても積極的に関与して参りたいと思います。よろしくお願いたします。

(2) その他

事務局より、今野委員が代表として活動している「読み聞かせボランティアこころ」が、本年度の公益社団法人読書推進運動協議会「全国優良読書グループ表彰」の受賞された旨報告した、また、熊谷館長より、任期最期の協議会ということで、委員の皆様へ感謝の意を伝えた。

6 閉 会（午後 3 時 20 分）